幕下は桐壺磯海春日根三つ巴

幕下は三日目まで終えて優勝争いは４人に絞られた。３戦全勝としたのは椿富士、玉乱、千丈岳、風神丸。

ともに元十両同士の茅ヶ崎と椿富士との一戦。一場所での返り咲きを目指す椿富士が茅ヶ崎を下して勝ち越しを決め、十両入りに大きく前進。

桐壺部屋は関取が春ノ翔と虎ノ國のみで今後の部屋勢力拡大のためには若手の活躍が必須になってくるだろう。

玉乱は場所前から優勝候補の一番手にあげられていて今場所もその実力を遺憾なく発揮している。幕下では敵なしといった堂々たる取り口を見せている。

この位置でたとえ全勝優勝しても、上位の結果にもよるが一気の関取奪取は厳しいかもしれない。それでも昇進ということになれば西旭、大石丸に次いで３場所連続の新十両誕生となる。

千丈岳がようやく存在感を発揮した。多分知っている人は少ないと思うが、親方が磯昇の引退によって付出しから入門させた力士だ。幕下５場所目となってようやくやる気を出してきたようで、自力岳に左を差して寄り切るうまい相撲を見せた。

茅ヶ崎●（寄り切り）○椿富士

玉　乱○（寄り切り）●御嶽灘

自力岳●（寄り切り）○千丈岳

そして磯ノ海部屋からは１人新幕下の風神丸も３連勝。こちらも強敵の音柱を退け千丈岳に続いてこの２番は磯ノ海部屋に軍配が上がった。磯ノ海の上位勢が苦戦を強いられている中で千丈岳と風神丸の２人が気を吐く結果となった。

秋田部屋では千曲海が初日黒星から連勝で２勝１敗とし白星先行、難波山は三日目にようやく勝って四日目以降に望みをつないだ。

そして、付出しの達子波も三日目に徳ノ虎を下して勝ち越しに王手をかけた。

難波山○（押し倒し）●徳富士

音　柱●（寄り切り）○風神丸

千曲海○（寄り切り）●亀　風

徳ノ虎●（押し倒し）○達子波

千秋楽に秋田親方が愛弟子の応援に駆けつけることとなっているが、それまでに親方を安心させる状況にしておきたいところ。

東付出しの松錦は二日目に難波山に勝って初白星をあげたが、１勝２敗となり勝ち越すためにはもう負けは許されない。

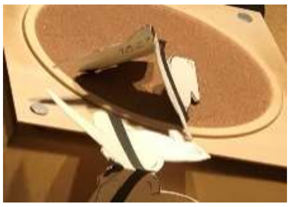
（山里）

三段目～序の口

三段目での３連勝は若今津、勝錦、石神、竜雲の４力士。特に若今津は三段目四枚目、あと一番勝てば霧ヶ浜部屋からの久々の幕下昇格が濃厚となるだけに霧ヶ浜親方の期待も膨らむ。

若今津○（引き落し）●里の若

勝　錦○（押し倒し）●紅の華


逆　岩●（寄り切り）○石　神

竜　雲○（寄り切り）●綱　櫻

西筆頭の里の若も２勝と山里部屋からの初の幕下力士誕生に期待が寄せられている。

序二段は桃天龍、伊勢の里、武原が３連勝。やはり序二段でも春日根勢が強い。

先場所序の口で優勝候補と言われながら千秋楽に森倉に苦杯を浴びた伊勢の里が序二段でも３連勝。ダントツの優勝候補だ。

笹　熊●（寄り切り）○伊勢里

碧　錦●（寄り倒し）○桃天龍

武　原○（寄り切り）●下山田

序の口の３連勝は場地、他力岳、桃黒龍。

春日根部屋の他力岳は序二段からの陥落組。本来、春日根部屋では序の口に落ちた力士は廃業なのだが、春日根夫人が他力岳の素質を惜しんで親方に直談判して残留が決まったとのこと。

他力岳もそれに応えるべく３連勝、師弟の絆の強さを知らしめた。

（鹿賀戸）

栃尾山●（押し倒し）○場　地

他力岳○（寄り切り）●武　藤

笛　藍●（寄り切り）○桃黒龍